

7 月 定 例 教 育 委 員 会 会 議 録

- 1 開 催 日 平成 29 年 7 月 6 日 (木)
- 2 開 催 場 所 新館 7 階 172 会議室
- 3 出席した委員 田淵教育長、吉田委員、森委員、坂元委員、廣岡委員
- 4 出席した職員 高井教育総務部長、大西教育指導部長、
井部教育指導部調整担当部長、
平田教育総務部次長、
小西教育総務部中学校給食準備担当参事、
野村教育指導部スポーツ振興担当参事、
石川教育指導部学校教育担当参事、
吉田教育総務課長、竹中学務課長、
山本学校教育課長、長瀬青少年育成課長、
中田教育研究所長、
山野教育総務課副課長
- 5 傍 聴 者 1 人
- 6 議 事 の 要 旨
 - 開 会 午後 3 時 30 分
 - 会議録署名委員指名のこと
廣岡委員に決定
 - 6 月 定 例 教 育 委 員 会 の 会 議 録 報 告 承 認 の 事 項
(事務局から会議録朗読報告)
承 認
 - 会議公開の可否決定のこと
全ての議事を公開することに決定

(専決報告)

1 学校医の解職及び委嘱について

(教育総務部次長から説明)

承 認

2 加古川市社会教育推進員の委嘱について

(教育指導部調整担当部長から説明)

承 認

3 加古川市社会教育推進員の解嘱及び委嘱について

(教育指導部調整担当部長から説明)

承 認

○ 次期定例教育委員会予定日のこと

8月3日(木)午後2時30分から開催することに決定

○ 教育長諸報告

(1) 「加古川市立公民館の活動に対する請願」にかかる審査結果の通知について

先月の定例教育委員会にて審査した「加古川市立公民館の活動に対する請願」に対する審査結果を、平成29年6月22日付けで請願者へ送付した。

委 員 : その後、請願者からの反応はあったのか。

事 務 局 : 「審査結果通知を確かに受領した」という旨の連絡があった。

(2) 平成 29 年第 3 回市議会（定例会）における一般質問について

6月13日、14日に一般質問があり、教育委員会関係では、松本裕之議員から、大項目「2020 東京オリンピック・パラリンピック開催における加古川市のスポーツ推進について」のうち「シッティングバレーボールチーム誘致について」、「障害者スポーツの推進について」、玉川英樹議員から、大項目「市民に開かれた教育委員会にする為の組織改革について」のうち「教育委員会の傍聴について」、「教育委員の役割と定数について」、「総合教育会議及び教育大綱について」、「教育委員会の人事評価制度の改革について」、大項目「まち・ひと・しごと創生総合戦略の中の人口流入を目指した教育改革の推進について」のうち「新ユニット 12 の取り組みについて」、「新ユニット 12 の効果について」、「『まちづくりオープンミーティング』について」、「構造改革特区制度を活かした大学、施設、学校園の誘致について」、小林直樹議員から、大項目「『チームとしての学校』の体制強化・拡充について」のうち「『チームとしての学校』の認識と取り組みについて」、「ICT活用についてサポート体制の現状とICT支援員の活用について」、「学校司書の配置について」、「スクールソーシャルワーカーの設置目的・活動・効果について」、「スクールソーシャルワーカーの今後の課題と効果的な活用について」、「教育相談コーディネーターの育成・配置について」、畑広次郎議員から、大項目「小中学校教職員の労働時間について」のうち「小中学校教職員の労務管理（就業管理）の方法について」、「小中学校教職員の1週間の平均労働時間について」、「子ども、保護者、同僚等と接する時間の確保について」、大項目「中学校部活動について」のうち「部活動の体制及び外部指導者の状況と現状の課題について」、「専門外の部活動の担当状況について」、「外部指導者の位置付けと法に基づく『部活動指導員』制度の考え方について」、岸本建樹議員から、大項目「学校の統廃合とオープンミーティングについて」のうち「市内学校の統廃合について」、大項目「大規模小学校の教育環境の在り方について」のうち「市内大規模小学校の教育環境の在り方について」の質問があった。

それぞれの質問の趣旨と答弁の要旨を説明する。

委員：玉川議員の一般質問では、教育委員会会議の運営等に関する内容が取り上げられていたが、もう少し詳細な説明をお願いしたい。

事務局：（趣旨及び答弁内容を詳細に説明）

事務局：なお、教育委員会会議に対してより関心を持ってもらうための取組として事務局から1点提案したい。現在、教育委員会会議の開催案内としては、市ホームページ上で次回開催日時とその場所のみを告知しているが、今後は取り扱う議案が確定次第、その標題を当該ページに追記していきたいと考えている。

各委員：（異議なし）

事務局：それでは、8月定例教育委員会の告知から、その方針に沿って取り扱うこととする。

(3) 平成 29 年第 4 回市議会（臨時会）日程（案）について
7 月 27 日及び 28 日に開催される。

(4) 平成 29 年第 5 回市議会（定例会）日程（案）について
9 月 5 日から 27 日に開催される。

(5) 平成 29 年度まちづくりオープンミーティングについて
第 1 回のまちづくりオープンミーティングが、6 月 24 日（土）に志方東小学校区を対象として開催された。今後、残りの 4 校区を対象として開催されることになるが、意見交換の内容等が整理でき次第、改めて報告したい。

(6) 平成 30 年度兵庫県予算に対する要望について
7 月 4 日（火）、兵庫県教育委員会に対して兵庫県都市教育長協議会としての予算要望を行った。管理職の候補者不足、新学習システムの弾力的な運用、部活動指導員のあり方の 3 つの課題について、重点的に協議を行った。

○ 教育委員諸報告

〔吉田委員から〕

(1) 平成 29 年度前期学校園訪問について

この度訪問した学校園では、いずれも施設の老朽化に苦慮している状況が見受けられた。教育委員会として耐震化を最優先にしてきたことは理解しているが、老朽化対策に関する今後の方向性を各学校園に示してあげても良いのではないかと。特に幼稚園においては、認定こども園化のことも含めた今後のビジョンが気になっているように思う。

事務局：認定こども園化が決定しているのは、川西幼稚園と東神吉幼稚園の 2 園のみであり、今後は待機児童等の状況を踏まえて認定こども園への移行を検討することとしている。なお、学校施設については、今後外壁とトイレを中心に改修していくことになるが、予算の裏付けがない中で今後の方向性を学校に提示してしまうと、様々な要因で予定が変更となった場合にトラブルが生じる可能性があると考えている。

〔森委員から〕

(1) 平成 29 年度前期学校園訪問について

この度訪問した園は比較的園児数が少ないこともあり、あまり活気が感じられず、園の活性化のためにはやはりある程度の規模が必要ではないかと感じた。一方では待機児童が発生している園も見受けられるため、市全体としてのあるべき教育環境を構築することを検討してもらいたい。

[坂元委員から]

(1) 平成 29 年度前期学校園訪問について

少人数の園では、子どもたちの遊びの種類が限られていることを実感した。一方で、北部地域の小学校を訪問した際には、改めて小規模校の良さを実感したことも事実である。今後まちづくりオープンミーティングも複数回にわたって実施されるが、様々な観点から望ましい教育環境というものを考えていきたい。

○ 教育総務部長諸報告

(1) 平成 30 年度採用 加古川市職員の募集について

6月9日(金)から6月23日(金)まで、平成30年度採用の加古川市職員募集を行った。採用予定人数は、幼児教育士(経験者含む。)12名程度等となっている。

委員 : 採用予定人数が12名程度ということであるが、経験者と未経験者の内訳も決めているのか。

事務局 : 特に内訳は決めておらず、試験結果に応じてそれぞれの人数が確定していくことになる。

(2) 就学援助の申請受付について

就学援助の申請受付を6月1日(木)から30日(金)まで行った。

委員 : ここ数年申請人数が減少傾向にあるのは、児童生徒数が減少していることに比例していると捉えたらよいのか。

事務局 : 全児童生徒数に占める申請者の割合自体が減少していることもあるため、児童生徒数の減少だけが理由ではないと認識している。

以上、2件について報告

○ 教育指導部長諸報告

(1) 第2回社会教育委員会議の開催報告について

平成29年6月23日(金)に、第2回「社会教育委員会議」を開催した。

(2) 平成29年度第69回加古川市中学校総合体育大会結果並びに東播地区中学校総合体育大会、第61回兵庫県中学校総合体育大会について

平成29年6月30日(金)及び7月1日(土)を中心に、加古川市中学校総合体育大会が開催された。

委員：競技の勝敗も確かに重要であるが、あいさつや礼儀作法、大会を支えてくれているスタッフに対する感謝の気持ちなど、勝敗以外の部分にも大切な要素がちりばめられていることを、顧問の先生を通じて子どもたちに伝えてもらいたい。

事務局：来週開催予定の教頭会を通じて周知を図りたい。

(3) 第6回ENJOYチャレンジ及びかこがわイングリッシュ・デイキャンプについて

夏季休業中に第6回ENJOYチャレンジ及びかこがわイングリッシュ・デイキャンプを開催する。

(4) 教科書採択基本方針、公正確保に関する通知、第1回選定委員会及び二市二町共同調査委員会の開催について

加古川市教科書採択基本方針の修正内容、文部科学省からの公正確保についての通知について報告する。6月8日(木)に加古川採択地区選定委員会、9日(金)に二市二町合同調査委員会を開催した。

委員：今年度の教科書展示会では200名を超える参加者があったということであるが、その場で実施しているアンケート結果の内容については、選定委員会に伝えているのか。

事務局：参考資料として選定委員会に提供している。ただ、展示会には今年度選定対象の道徳の教科書だけではなく、現在使用している全教科の教科書もあわせて展示しており、道徳の教科書に関するご意見は少なかったと聞いている。

(5) 平成29年度特別支援教育講演会(映画会)開催について

平成29年8月2日(水)に、特別支援教育講演会として映画会を開催する。

(6) 「子どもの不登校を考えるつどい」の開催について

平成29年7月24日(月)14時から、青少年女性センターにて「子どもの不登校を考えるつどい」を開催する。

(7) 平岡中学校で発生した体罰事案について

平成 29 年 6 月 29 日 (木) に、平岡中学校のバドミントン部顧問を務める教員が部活動指導中に 1 年生の部員を蹴り、けがを負わせるという事案が発生した。

委員：被害を受けた生徒の気持ちや考えは適切に把握しているのか。仮に当該生徒の意図しないところで報道が先行しているような場合、「自分のことでバドミントン部や学校に迷惑をかけてしまった」と悩んでいる可能性もあるので、必ず当該生徒の心のケアを徹底し、守ってあげてほしい。

事務局：学校としても当該生徒の心のケアの重要性は認識しているため、引き続き注意して見守るとともに、必要に応じてカウンセリング等の実施を行う中で、当該生徒の状況を適切に把握していく準備をしているとのことである。

委員：このような事案が発生した場合、再発防止に向けて教員に対する研修を実施することがよくあるが、そのことについて意見を述べたい。現代の子どもたちの考え方は、当然ながら数十年前の子どもたちの考え方とは変わってきているため、部活動の指導に対する反応も異なってきている。顧問の教員が「自分たちの時代はこうやって成長してきた」という思いを現代の子どもたちに押し付けても受け入れられない部分があることを十分に理解しておく必要があると思う。そのため、「体罰はいけない」という研修というよりも、現代の子どもたちの考え方や心理状態がどういうものなのかを学ぶ研修を実施し、認識のギャップを解消する必要があると考えている。

委員：文部科学省が実施した運動部の顧問を対象した集合研修において、怒りの感情をコントロールする「アンガーマネジメント」というものを取り入れて好評を得たという話も聞いたことがある。

以上、7 件について報告

○ 閉 会 午後 5 時 10 分